

<p>国鉄改革完遂！ 当たり前の労働運動 を前進させよう！</p> <p>J R 東海労に 結集しよう！</p>	<p>J R 東海労</p>	<p>静岡</p>	<p>J R 東海労働組合静岡地方本部 静岡市葵区黒金町 68 NTT 054-284-3608</p> <p>発行責任者 山本繁明 2011年5月3日 No. 20</p>
---	-----------------------------	-----------	--

5月3日憲法記念日

憲法9条を踏みにじってきた原子力政策

東日本大震災で発生した福島第一原発事故により、4号炉の使用済み燃料プールの危険性が注目されています。国の原子力政策では、原子力発電所でできた使用済み燃料は再処理してプルトニウムを取り出し、高速増殖炉で効率的な発電に利用するとしています。これまで日本は、フランスやイギリスに再処理を委託し、45トンにも上るプルトニウムを取り出して溜め込んでいます。このプルトニウムは高速増殖炉に入れて運転すると、莫大なエネルギーを得ることができます。

しかし同時に、原子爆弾の製造が可能な兵器級プルトニウムの生産が可能となります。実際に、国内の高速増殖炉「常陽」に22キログラム、「もんじゅ」には60キログラムがすでに蓄積されており、これをさらに再処理工場で取り出せば、原子爆弾30発以上を製造できる量だと言われています。

1969年、外交政策企画委員会（外務省）が作成した内部資料「わが国の外交政策大綱」には、「当面核兵器は保有しない政策はとるが、核兵器製造の経済的・技術的ポテンシャル（能力）は常に保持するとともに、これに対する掣肘（自由な行動を妨げること）を受けないように配慮する」と書かれていました。これが、原発をやめない理由です。

本当の目的を覆い隠すために、溜め込んだプルトニウムの使い道として、ウラン用の原発で燃やすプルサーマル計画や、ウランと混ぜたMOX燃料を使うフルMOX原発の建設が、危険が増大する事を承知で無理やり進められています。憲法9条を踏みにじり国民を破滅へと導くまやかしただらけの原子力政策を、今すぐ止めさせなければなりません。

原子力の平和利用という化けの皮をはいで、安心平和な社会をめざそう！！